

初めての導入でも失敗しない！

# テレビ会議システム 導入ガイドブック

# はじめに

昨今、テレビ会議システムは企業の設備インフラとして必要不可欠な機器になりつつあります。移動交通費・宿泊費などのコスト削減、移動時間の削減による業務効率化、社内コミュニケーションの活性化による業務スピード向上、意思疎通など、テレビ会議システムが活躍する場面は少なくありません。

一方で、テレビ会議システムは専用機タイプとパソコンタイプの2種類があったり、無料のものから100万円を超える高額製品まであったりと、様々な種類があり、どのシステムが良いのか知識のない方には分かりにくいシステムと言えます。しかも、一度導入をしてしまえば少なくとも数年は使用するのが通例であり、選定に失敗するとせっかくの投資が大きな無駄になりかねません。

そこで本資料では、テレビ会議システムの導入・選定にあたって考えるべきポイントや、専用機タイプとパソコンタイプの違いなど、初めてテレビ会議システムの導入を検討する方にとって分かりにくいところを簡潔にまとめ、解説しています。

初めてテレビ会議システムの導入をする企業の調査ご担当者の方や、経営者の方にぜひお読み頂き、参考にして頂ければ幸いです。

## 目次

### 1 選定にあたって考えるべき2つのポイント

ポイント1 ストレスを生まないためには、「音声 > 映像」

ポイント2 考えるべきは、「現場のユーザ」と「用途」

### 2 専用機とパソコンタイプの違い

1. テレビ会議システム比較表
2. パソコンタイプのメリットと注意したいポイント

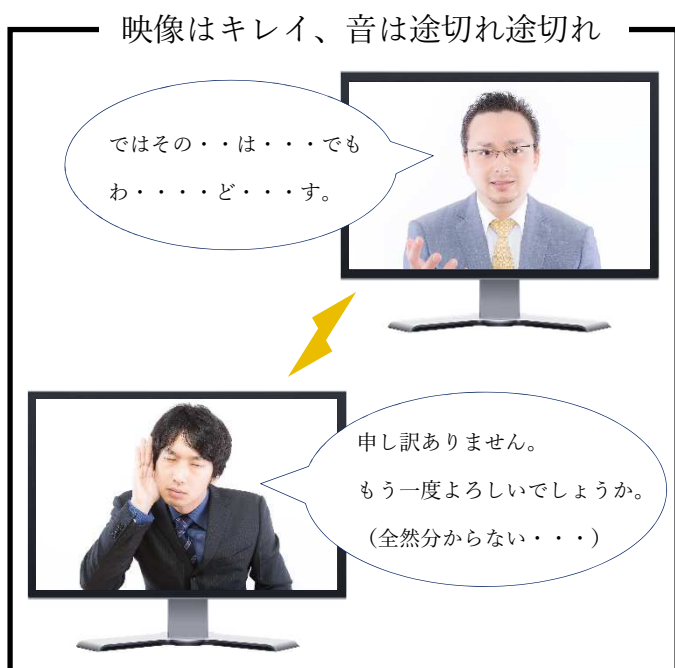
### 3 まとめ

# 1 選定にあたって考えるべき2つのポイント

テレビ会議システムの選定にあたって考慮すべきポイントとは？価格？機能？もちろんこの2つは大切です。しかしながら、根本的に大切な考え方が抜けた状態で価格・機能のみで比較してしまうと、選定に失敗する可能性があります。根本的な考え方をしっかり身につけて、テレビ会議の選定に失敗しないようにしましょう。

## ポイント1 ストレスを生まないためには、「音声 > 映像」

テレビ会議は、従来の電話に加え、映像が見えるという性質の製品のため、多くの人は映像に注目しがちですが、実際の会議では映像よりも音声が必要になるケースのほうが多いです。その理由は「映像はキレイに見えるが、音声は途切れ途切れ」の場合と、「映像が荒れてるが、音声はクリアに聞こえる」場合とで、どちらのケースのほうがストレスなく会議ができるか、を考えて頂くとわかりやすいと思います。



上記は極端な例ではありますが、会議をするときに重要なのは音であることが分かるかと思います。冷静に考えれば、音がクリアに聞こえなければ何の意味疎通もできないことは分かるのですが、意外と「映像ばかりを重視してしまって、音声については重視せず、導入後に後悔する」というパターンがあります。音声を比較基準として重視するとよいでしょう。

また、映像について、重要でないという意味ではありません。相手の表情と音声合わさったときに初めて、相手のニュアンスや空気感が対面でのコミュニケーションに近い形で読み取れるようになります。音声のみの電話と比較した時のテレビ会議の良さの一つはその点にありますので、当然映像も重要です。ただ、相手の表情がある程度分かればよい（悩んでいるのか、喜んでいるのか等）ことが多いので、例えば、4K・8K画質などのハイクオリティな画質が必要かという点、そうでないケースも多々見られます。

### ポイント1 映像より音声重要。音声が途切れたり、遅延が無いかを確認する

確認方法 数時間接続する、時間帯を変えて接続する、レスポンス早く会話ができるかどうかを確認

## ポイント2 「会議の重要度」と「現場のユーザ」

テレビ会議システムを選定する際は、どのような用途で使用するのか（用途）と、誰が使うのか（現場のユーザ）を念頭に、最適なシステムを選定する必要があります。



「重要度」と「現場のユーザ」の組み合わせで、  
どんなシステムを導入すべきかが導き出されます。

### ■重要度・ユーザ別オススのテレビ会議システム

重要度の高い会議は、安定している専用機タイプを導入しましょう。不安定なものを導入してしまうと、会議のたびにセッティングが必要になったり、ずっと待機する羽目になります。

用途	ユーザ	導入地点毎に パソコンに詳しい人がいる	導入地点毎に パソコンに詳しい人がいない
役員会議など 重要な会議		専用機タイプ	専用機タイプ
定例の営業会議 など	5名以上参加	専用機タイプ	専用機タイプ
	1～4名参加	有料のパソコンタイプ	
個別の打ち合わせなど 1対1で行う会議		有料のパソコンタイプ 無料のパソコンタイプ	専用機タイプ

### ポイント2 会議の重要度と社内のIT習熟度を確認する

確認方法      テレビ会議を使用した会議をリストアップする  
パソコンでトラブルが起こった場合に、各自で解決できているか

前章ではユーザと用途によって最適なシステムを検討するポイントをご紹介しましたが、本章では専用機タイプ、パソコンタイプ（WEB会議）それぞれの違いや特徴を解説します。

## テレビ会議システム比較表

各システムを比較表にまとめました。ご検討の際も、下記のような比較表にして検討を進められると失敗しにくくなりますので、参考にして頂ければと思います。なお、弊社製品ループゲイトは専用機タイプでありながら、パソコンタイプ（WEB会議）の手軽さを兼ね備えた製品となっております。

比較項目	弊社製品ループゲイト （専用機タイプ）	専用機タイプ	パソコンタイプ （WEB会議）
音声	○ 高音質	○ 高音質	△ 音声途切れ、音声遅延が発生
映像	○ フルHD対応など、高画質が主流	○ フルHD対応など、高画質が主流	○ HD対応など、高画質が主流
安定性	○ 非常に安定している。	○ 非常に安定している。	△ 音声途切れ、音声遅延が発生したり、頻繁に切断される場合がある。
価格	○ 専用機なのに低価格。 地点が増えても 多地点接続装置は不要。	△ 一般的には高額。 地点が増えると、 多地点接続装置も必要。	○ 比較的安価に導入可能。
柔軟性	△ 会議室など主に社内で利用する。 <b>固定IPアドレスが不要。</b>	△ 会議室など社内で利用する。 <b>固定IPアドレスが必要な場合がある</b>	○ ノートパソコンやスマートフォン から 接続可能。
サポート	○ エンジニアが直接対応。 （平日7:30～21:00、土日祝9:00～ 18:00） 専用機のため解決までの時間が早い	△ 平日9時～17時が多い 一次対応のみとなり 解決に時間のかかるケースがある。	△ 平日9時～17時が多い 一次対応のみとなり 解決に時間のかかるケースがある。
用途	○ 会議、研修、朝礼、 常時接続、遠隔受付など 多岐にわたる	△ 役員会議など重要な会議が中心 会議室に据え置きで移動がしにく い為研修などに不向き	○ 会議、研修、常時接続、 外出先からなど、 様々なケースで使える
操作性	○ どなたでも簡単に使える <b>ワンタッチ操作。</b>	○ 大体の方は使える。 専用のリモコンを使用して接続。	△ パソコン操作が必要なため、 使えない人が出てくる。

# パソコンタイプ（WEB会議）のメリットと注意したいポイント

---

## 1. パソコンタイプ（WEB会議）のメリット

### ● 元々ご利用されているパソコンを流用できる場合がある

個人席からの会議参加などで利用される場合は、今使用しているパソコンをそのまま利用できるため、**専用機タイプに比べ、導入コストが安価に済む**という利点があります。ただし、複数人数が集まって会議するために会議室に設置するという場合には、会議室用としてパソコンを新規に購入したほうがよいでしょう。

### ● クラウド型のサーバを利用できる

複数地点（4地点以上など）が接続する場合、多地点接続サーバの導入が必要になるケースがあります。専用機タイプの場合、サーバ自体を導入する（500～1000万円するケースもあります）必要があるケースが多いのに対し、パソコンタイプの場合、クラウド型のサーバを利用できるケースが多く、初期投資を少なくできるのがメリットです。

## 2. 注意したいポイント

### ● OSに起因する問題

- ・ いざ使いたい時にOSのUpdateが走ってしまい利用できないことがありますので、**会議利用時には1時間前等、十分な余裕をもって準備する**必要があります。
- ・ セキュリティソフト等の他のソフトと競合しメモリを奪われ、処理が重たくなったり急に切断される恐れがあります。他のソフトウェアはすべて落としたほうが良いと考えられます。なお、セキュリティソフトを終了させる場合、セキュリティリスクが高まりますので注意が必要です。

### ● セキュリティリスク

- ・ IDやパスワードによってどこからでも参加できるため、IDやパスワードの流出によって盗聴やなりすまし等の盗み見られるリスクがあるためご注意ください。
- ・ OSによってはハッキングやウイルスの標的になりやすいので、**VPN内などでの利用がお勧め**です。

### ● 設定や機能面、動作面の不具合事例

- ・ 高速な処理ができるハードウェアではなく、ソフトウェアで制御しているため、音声に関しては遅延したり、エコーやハウリングが起り得ます。
- ・ 様々な機能が標準で搭載されていますので、**一般的に操作が煩雑**です。

## テレビ会議システムの導入に失敗しないためのポイントをまとめます。

### ●映像より音声重要。音声途切れたり、遅延が無いかを確認する。

音がクリアに聞こえなければ意思疎通できず、音声途切れたり、遅延が大きいと大きなストレスとなります。数時間接続する、時間帯を変えて接続する、レスポンス良く会話ができるかどうか確認しましょう。

### ●「会議の重要度」と「パソコンの習熟度」に応じたテレビ会議システムを選択する。

重要度の高い会議は、安定している専用機タイプを導入しましょう。不安定なものを導入してしまうと、会議のたびにセッティングが必要になったり、ずっと待機する羽目になります。担当者同士が1対1で接続したり、パソコン習熟度の高い会社であればパソコンタイプ（WEB会議）をそうでない場合は、専用機タイプを選択しましょう。

### ●専用機タイプとパソコンタイプ（WEB会議）の違いを知っておく。

最適なシステムを選ぶためには専用機タイプとパソコンタイプ（WEB会議）の違い・メリット・デメリットを理解しておくことが必要です。

## 簡単テレビ会議システム ループゲイト（専用機）

弊社の提供している簡単テレビ会議システム「ループゲイト」は、高い安定性と簡単な操作性という専用機の良さと、低価格であるパソコンタイプの良さを兼ね備えたシステムです。

- 安定した映像・音声の品質
- ボタンひとつ押しだけの簡単操作
- エンジニアによる安心の毎日サポート

資料の送付、デモンストレーションの実施など無料で対応いたしますので、ご興味ございましたらお問い合わせください。



下記までお気軽にお問合せください

通話料  
無料

みんなにつなご  
0120-372275

※受付時間 9:00~21:00（平日）  
9:00~18:00（土・日・祝）

 **ギンガシステム株式会社**

<東京本社>  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-28-12 ATYビル 4F  
TEL: 03-5421-2323 / FAX: 03-5421-2325

<大阪オフィス>  
〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満5-6-4 SNビル 5F  
TEL: 06-7663-3300 / FAX: 06-7663-3301

 **Ginga System**